

国語 第2学年 同じぶぶんをもつかん字

授業の設計図

元にした物：小学校学習指導要領（平成29年告示）の原文と、国立教育政策研究所の学習評価の参考資料。教科書の本文・問題・挿絵は入れていません（先生が入れる欄）。光村図書の令和6年度版年間指導計画に基づく1学期の授業案。教材本文・台詞・挿絵・問題文は転載していない。

この単元で子どもが最後にできるようになること

同じ部分をもつ漢字を比べ、字形や意味を確かめて使う。学習の記録は、漢字の構成の図、同じ部分をもつ字の例、意味や字形を確かめた自作文である。公式年間計画は知識・技能に重点を置く短い教材としている。本案でも本時は知①を中心に記録し、思考・判断・表現をこの教材だけで独立して評定する扱いにはしない。

学習指導要領のどこに書いてあるか（原文）

学習指導要領の項目	原文
〔第1学年及び第2学年〕〔知識及び技能〕(1)エ	エ 第1学年においては、別表の学年別漢字配当表（以下「学年別漢字配当表」という。）の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うこと。第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読むこと。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。

単元の目標

第2学年までに配当されている漢字を読むことができるとともに、文や文章の中で使うことができる。（〔知識及び技能〕(1)エ）

同じ部分をもつ漢字を比べ、字形や意味を確かめて使う学習の中で、言葉への関心を持ち、自分の取り組みを見直そうとする。

評価規準（3観点）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①第2学年までに配当されている漢字を読むとともに、文や文章の中で使っている。（〔知識及び技能〕(1)エ）	①この教材単独では記録に残す評価を行わず、関連する言語活動の単元で見取る。	①同じ部分をもつ漢字を比べ、字形や意味を確かめて使う学習に進んで取り組み、友達の反応や自分の記録を確かめながら、言葉の使い方や捉え方を見直そうとしている。

単元の流れ

光村図書の年間指導計画による全2時間（知・技2）。総時数は公式資料に従う。各時の配分と本時の選定は、本案による授業配当の提案である。

次	時	学習活動	評価規準（評価方法）
第1次	1	○誰に何を伝えるかを確認め、書く材料や最初の文を出す。 既習漢字の同じ部分を探し、位置や形を比べる。	学習状況を見て支援する。
第2次	2 （本 時）	○既習漢字の同じ部分を探し、位置や形を比べる。読みと意味を確認め、その字を使う文を書いて正字と照合する。対象の言葉や文字をもう一度使い、確かめたことが別の例でも生かせるかを試す。	知①（発言・活動中の記録・作成物）



本時の案

本時の目標：第2学年までに配当されている漢字を読むことができるとともに、文や文章の中で使うことができる。（〔知識及び技能〕(1)エ）

段階	学習活動（○主な発問） ・予想される児童の反応	指導上の留意点（◎評価）
導入 (分)	誰に何を伝えるかを確かめ、書く材料や最初の文を出す。 ○「同じ部分があっても、字全体では何が違いますか」 【めあて】同じ部分をもつ漢字を比べ、字形や意味を確かめて使う。 〈予想される児童の反応〉 ・同じ部分が違う字にも入っている。	最初の言い方や記録を残し、授業後の考えと比べられるようにする。正答を先に示さず、扱う言葉と課題を確認する。
展開 (分)	○「同じ部分があっても、字全体では何が違いますか」 既習漢字の同じ部分を探し、位置や形を比べる。読みと意味を確かめ、その字を使う文を書いて正字と照合する。 対象の言葉や文字をもう一度使い、確かめたことが別の例でも生かせるかを試す。 〈予想される児童の反応〉 ・同じ部分が違う字にも入っている。 ・似た形でも長さや位置を確かめたい。	教科書で扱う既習漢字を部品カードに分け、正字の見本で位置と大きさを確かめる。独自例「木」と木へんの字を比べ、存在しない組合せは造字と区別する。 想定する難しさ：似ている部分があるという理由だけで、読みや意味も同じだと決める。 評価では、第2学年までに配当されている漢字を読むとともに、文や文章の中で使っているかを、漢字の構成の図、同じ部分をもつ字の例、意味や字形を確かめた自作文と活動中の発言・操作から確かめる。作品の量や見た目、発言の回数だけで判断しない。 ◎知① 第2学年までに配当されている漢字を読むとともに、文や文章の中で使っている。（発言・活動中の記録・作成物）
まとめ (分)	【まとめ】問いへの答えを、今日確かめた言葉や表現を含めて話す。 漢字の構成の図、同じ部分をもつ字の例、意味や字形を確かめた自作文を見返し、初めと変わった点や、そのまま残した理由を確かめる。 〈予想される児童の反応〉 ・似た形でも長さや位置を確かめたい。	教師のまとめを写すだけにせず、本人が選んだ言葉と理由を確かめる。態度は本時だけで決めず、単元を通した取り組みと調整の記録を合わせて判断する。 ◎態①（最初と最後の記録、見直しの理由）

板書の構造（縦書き・右から左へ）

縦書きで、右から左へ学習の流れを配置する。右端に題名とめあて、その左に問い「同じ部分があっても、字全体では何が違いますか」。中央は、漢字の構成の図、同じ部分をもつ字の例、意味や字形を確かめた自作文に必要な言葉・材料と、考えた理由を対応させる。本文を扱う場合は先生が手元の教科書から必要な範囲を示す。左側に比べて気付いた点と見直した箇所、左端に本時で確かめたことを置く。

つまずきやすい所と手当て

似ている部分があるという理由だけで、読みや意味も同じだと決める。この難しさには、教科書で扱う既習漢字を部品カードに分け、正字の見本で位置と大きさ確かめる。独自例「木」と木へんの字を比べ、存在しない組合せは造字と区別する。評価では、第2学年までに配当されている漢字を読むとともに、文や文章の中で使っているかを、漢字の構成の図、同じ部分をもつ字の例、意味や字形を確かめた自作文と活動中の発言・操作から確かめる。作品の量や見た目、発言の回数だけで判断しない。

プリントの案

本時の記録

漢字の構成の図、同じ部分をもつ字の例、意味や字形を確かめた自作文を残す欄を用意する。教材本文や図を複製せず、自分の言葉や印で記録する。

比べて確かめたこと

最初の考えや表現、友達からの反応、確かめた言葉、最後に選んだ考えや表現を対応させる。書く負担が大きい場合は口述や指差しも教師が記録する。

出典：光村図書 令和6年度版 年間指導計画。教材名・時期・総時数・目標の出典。年間指導計画例 Excel（2年）「2年上巻」60行目（https://www.mitsumura-tosho.co.jp/download_file/view/1916261d-d388-44ac-af42-3aa7e13b6b11/368）／文部科学省 小学校学習指導要領（平成29年告示）。保存した公式原文と学年段階・項目を照合。

（https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1384661.htm）／国立教育政策研究所「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 小学校 国語。評価の観点と記録の考え方。

（https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_kokugo.pdf）

AIが作成した授業案です。授業での検証は未実施です。自校の教材・年間計画・学級の実態に合わせて確認してください。



Threads「三重でAI使うなら」(@mie_ai_katsuyo)
https://www.threads.com/@mie_ai_katsuyo

LINEオープンチャット
みえ先生ラボ

